

住宅見学会「旧閑谷学校」

住宅委員会 佐々岡 由訓

6月28日、岡山県備前市の特別史跡旧閑谷学校を見学してきました。この建物は、昨年度開催された住宅講演会で講師をしていただいた向山徹氏が、現在、岡山県立大学にて、水路や石堀など周辺環境とランドスケープデザインについて研究されています。今回は向山さんから旧閑谷学校について、フィールドワークを通して学ぶ機会となりました。

閑谷学校は江戸時代前期の寛文10年(1670年)に岡山藩主池田光政によって創建されました。初めて閑谷の地に来観した池田光政は、「山水清閑、宜しく読書講学すべき地」と称賛、学校の設立を決めたそうです。藩主の意を受けた家臣津田永忠は、約30年かけて、元禄14年(1701年)に堅固で壮麗な学校を完成させました。平成27年(2015年)には「近世日本の教育遺産群」として特別史跡旧弘道館、史跡足利学校跡、史跡咸宜園跡などとともに最初の日本遺産に認定されました。

今回の見学会へは住宅委員会から5名と事業委員会から2名ご参加いただきました。梅雨時期で雨を心配していましたが、今年は梅雨明けがかなり早く、前日27日に梅雨明けし、当日は気温30度以上真夏の快晴の中での見学となりました。

最初に敷地内にある蕎麦屋の前のテーブルで向山さんから閑谷学校についてレクチャーを受けました。閑谷学校を「雨の器」として、敷地内の建物の屋根に敷かれた備前焼の瓦から流れる雨水や、校地全体に降った雨が、石垣・石堀・水路によって巧みにコントロールされ、生きた「学びの場」として空間が作られていること。また、それらを支えるものとして、津田永忠をはじめとした職人たちの、場の本質を見抜く「見立て」、彼らの長年の見識に基づく「土木・水利・建築技術」、そして、「自然への配慮」があることを学びました。



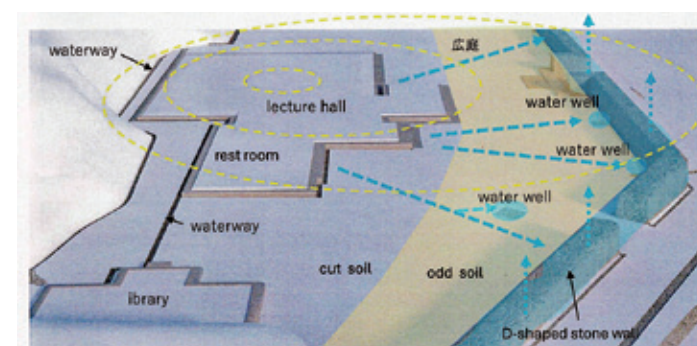
歩いて水路をたどる

次に歩いて敷地内を観察していききました。水路

や集水桝、調査中の暗渠や、瓦下の雨水を排出するための備前焼の管など、多くの水を流すための工夫がありました。特に敷地内をぐるりと囲む特徴的な蒲鉾型の石堀から、降った雨水が蒸散する際に、霧が立ち上るとい話にはとても感心しました。是非、雨の日にもまた訪れてみたいと思いました。



緻密な石垣を観察



向山さんの配布資料より

この学校の永続を願う藩主の意を受けた津田永忠が、雨水が敷地内を流れ、蒸散する仕組みを石材を使って実現させたのは、治水、防災のためなのはもちろんですが、水の循環を体験から学ぶことができる生きた学び場とするためだったということが良く分かりました。「現存する世界最古の庶民のための公立学校」として、現在も論語塾などが開催され学び場として生かされていることが、なによりもこの学校の価値を物語っていると感じました。

今回は、資料の準備などもしいただき、半日じっくり解説をしていただいた向山さんにはとても感謝しております。今後も建築探訪の機会があれば企画したいと思います。



楷(かい)の木の前にて記念撮影

MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.205 令和7年9月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL(082)244-6830(代) FAX(082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 佐名田 敬荘
編集人 広報委員長 梶川 彰彦

表紙写真について

山陽学園 中学校・高等学校 西館

- 設計・施工／鹿島建設 株式会社
- 所在地／岡山県岡山市中区門田屋敷二丁目2－16
- 構造規模／RC／地上4階 塔屋1階
- 敷地面積／30,249.54㎡
- 建築面積／1,846.04㎡
- 延床面積／4,601.48㎡
- 竣工／2025年3月

創立140周年の記念事業として行われた、普通教室と各種特別教室が入る新校舎と部室棟の建設及びテニスコートの整備計画である。
ピアノやダンスレッスンを行う音楽系の特別教室は、1階に機能を集約配置し、天井内に防振ゴム製の吊り材を採用するなど上階への騒音と振動の影響を最小限に抑えている。また、近隣住宅への配慮として、窓の無いコンクリート製の外壁と高い防音性を確保した。
既存本館との間は、「きざはし(階)」と称する多目的に利用できる広場空間で接続している。「きざはし(階)」とは、物事が目的に向かって1段1段と進む様子という意味があり、山陽学園で伝統的に行われている「きざはしの式」に因んでいる。このテラスが生徒たちの集いの場となり、様々な活動や交流を通じて、教室内では得られない「学びの場」となることを願っている。



CPD 認定プログラム(9 ～ 10月の広島県内実施分)

2025年8月18日現在

日 時	プログラム名	単位	主 催	連絡先
9 / 24	内線規程講習会 (広島会場)	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9 / 25	電気設備保全管理講習会	5	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
9 / 27	H1502 ドローンを活用した建物劣化診断技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9 / 27	H1301 隅木・振垂木の施工実践技術	6	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9 / 28	H1502 ドローンを活用した建物劣化診断技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
9 / 28	H1301 隅木・振垂木の施工実践技術	6	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
10 / 4	令和7年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会 (4)	6	広島県建築士会	082-244-6830
10 / 7	H3101 事例で学ぶビルにおける給排水衛生設備の保守管理技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
10 / 7	「設計に活用したい」セミナー地球環境と今後の日本について考える研修会	3	広島県建築士会福山支部	084-923-4820
10 / 8	H3101 事例で学ぶビルにおける給排水衛生設備の保守管理技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
10 / 10	令和7年度 広島県木造建築セミナー (3)	6	広島県 林業課 (NPO 法人サウンドウッズ)	06-6360-4465
10 / 15	監理技術者講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
10 / 21	【第3回】労働安全衛生特別教育 (高圧・特別高圧電気) 講習会 (1日目) 10/21	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
10 / 22	既存住宅状況調査技術者講習 (新規)	5	広島県建築士会	082-244-6830
10 / 22	【第3回】労働安全衛生特別教育 (高圧・特別高圧電気) 講習会 (2日目) 10/22	6	日本電気協会 中国支部	082-243-4237
10 / 25	H0501 実践建築設計2次元CAD技術 (建築設備図編)	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
10 / 25	令和7年度 広島県ヘリテージマネージャー養成講習会 (5)	6	広島県建築士会	082-244-6830
10 / 26	H0501 実践建築設計2次元CAD技術 (建築設備図編)	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
10 / 27	H1402 ドローンを活用した測量実践技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
10 / 28	令和7年度 広島県木造建築セミナー (4)	3	広島県 林業課 (NPO 法人サウンドウッズ)	06-6360-4465
10 / 28	H1402 ドローンを活用した測量実践技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
10 / 29	H0902 実践建築設計3次元CAD技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
10 / 29	設計図書整合性向上ガイドブック解説講習会 (DVD 講習)	1	広島県建築士会	082-244-6830
10 / 29	総合図作成ガイドライン解説講習会 (DVD 講習会)	2	広島県建築士会	082-244-6830
10 / 30	H0902 実践建築設計3次元CAD技術	5	高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部広島職業能力開発促進センター	082-245-4338
10 / 31	2025年度被災建築物応急危険度判定士講習会	3	広島県建築士会	082-244-6830

ふろじえくと

PROJECT NEWS

ニュース

インテリアシリーズ

足場板でラックを作ろう

広島支部女性部会

最近、杉の足場板を使った内装や家具などを見かけませんか？そう。全国で最近見る杉足場板を使ったインテリア、多くが廿日市の企業であるWOODPROさんの足場板を使っているものです。足場としてリースし、使い込まれて味の出たものをインテリアで利用し、最終的にはすべてをリユース・リサイクルする。このSDGsな取り組み、ぜひ工場で体感してみてください。会長の中本敬章さんのお話を聞き、工場見学したあと、ネットでは買えないおシャントイ的な杉足場板のキャラックをワークショップで作ります。

日 時

10月18日 (土) 10:00～12:00

場 所

株式会社WOODPRO
廿日市市峠245-33 (佐伯工業団地内)

募集人数

申込開始は9月18日から、先着順8名です。

会 費

建築士会員 1,640円、一般 2,640円

申込方法

下記URL若しくはQRコードからgoogleformに入力をお願いします。
<https://forms.gle/fnbt8e3MP4SnbPQM8>

問合せ先

広島支部事務局 TEL: 082-244-6836
E-mail: info@shikai-hiro.jp

人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

かつて先人たちが理想を追い、実現してきたデザインや技術は、現代に伝統として受け継がれています。竹中工務店は、その伝統を尊びながら、常に新しい価値や試みを取り入れ、革新的なデザインや技術を創り出すことを目指しています。人と自然が共に豊かになるにはどうしたらいいのかわ、未来の環境をつくる使命を持って新しい建築を世に送りだしていきたい。そして、10年後、20年後、100年後、その建物が新しい「伝統」になり、未来の建築家たちの礎になることを願っています。「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」竹中工務店は、この経営理念のもと、建築の可能性を追い求めています。

竹中大工道具館 (広島県中野市)
設計施工・竹中工務店

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

株式会社 竹中工務店 本社 〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13 Tel.06-6252-1201 / 東京本店 〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1 Tel.03-6819-5000



安全で安心な住まいづくりをサポートします。

- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット 35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険
- ◆ 省エネ関連業務
- ◆ リフォーム評価ナビ
- ◆ ベターリビングリフォーム審査業務

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関
株式会社 広島建築住宅センター
URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL (082) 228-2220 FAX (082) 228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL (084) 928-3979 FAX (084) 928-3974

建築確認・検査
構造計算
適合性判定

「より早く・より親切に・より分かり易く」をモットーに
より確かなサービスを提供します

設計
性能評価
建築
定期報告

- 指定確認検査機関
- 登録建築物エネルギー消費性能判定機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 指定構造計算適合性判定機関
- 適合証明業務（フラット35）
- 調査診断業務（違法性調査、定期報告等）
- 登録住宅性能評価機関
- 長期使用構造等の確認業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価業務

12条点検は弊社におまかせください

株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <https://www.jesupport.jp/> e-mail: mail@jesupport.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-8-6F
TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201
東京支店: 東京都千代田区神田富山町22-7F
福岡支店: 福岡県福岡市中央区天神一丁目9-17-8F

指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第1号） 登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第5号） 登録省エネ判定機関（中国地方整備局長登録第3号）
BELS 低炭素建築物 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット 35 適合証明 住宅性能評価 省エネ適判

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすばりカバーしています

ハウスプラス中国住宅保証株式会社
<https://www.jutakuhosho.com/>

広島支店・広島本店：広島市中区国泰寺町 1-3-32 国泰寺ビル
TEL: 082-545-5607 FAX: 082-545-5608

令和7年度 第34回全国女性建築士協議会(やまがた)

「山形から発信 みらいへつなぐ木の挑戦」～雪・山・川がおりなす食文化と共に～

令和7年7月19日（土）・20日（日）、山形市にて第34回全国女性建築士協議会が開催され、全国から361名（うちWEB参加67名）の建築士が集いました。広島県からは10名が参加し、そのうち1名はオンライン（WEB）による参加でした。

本大会では、地域の自然環境と文化を背景に、木造建築の可能性や持続可能な社会への貢献について多角的な議論が交わされました。地域を越えた多様な視点の交流を通じて、建築の未来に向けた新たな気づきが得られる有意義な機会となりました。

初日は、4県による被災地・活動報告に続き、「木造の可能性」をテーマとした基調講演が行われました。夜の大懇親会では、山形の銘酒「十四代」をはじめ、普段なかなか口にできない美味しい地酒が振る舞われ、世代や地域を越えた交流が一層深まりました。二日目は、参加者の関心や専門性に応じた分科会（A～G）と全体会が行われ、各分野における実践的な取り組みや課題が共有されました。午後には、山形の風土と文化を体感する5つのエクスカーションが実施され、地域との関わり方や建築の役割について、現地の空気を通して学ぶ貴重な機会となりました。（女性委員会委員長 小玉志帆）

大会スケジュール

■7月19日（土）13：45～20：30

- ・開会式
- ・被災地報告・活動報告（山形県・石川県・福島県・兵庫県）
- ・基調講演 「木造の可能性」
- ・大懇親会

■7月20日（日）9：00～18：00

- ・分科会（A分科会～G分科会）
- ・全体会
- ・エクスカーション（Aコース～Eコース）



★来年の開催地は神奈川県です。興味のある方、ぜひ一緒に参加して、楽しみながら知識を広げてみませんか。★

エクスカーション Aコース「文翔館とコパル見学コース」参加報告

県北支部 倉田 まゆみ

Aコースでは、明治・大正・令和という歴史の異なる三つの時代を感じられる建物を巡り、それぞれの魅力に触れることができました。

①『紅の蔵』（明治時代）

紅花商人だった長谷川家の蔵屋敷。まずは趣のある建物内で、おいしい手打ち蕎麦のランチをいただきました。その後、母屋や蔵をじっくり見学。山形市の伝統工芸品である組子細工が建具に美しく施されていたり、蔵の壁には、かつて嫁いできた女性の豪華な打掛が壁紙として使われていたり、細部まで心惹かれる工夫がたくさんありました。見学の締めくくりに、暑さを吹き飛ばすさくらんぼアイスも味わい、大満足！



②『文翔館』（大正時代）

こちらは“大正ロマン”あふれる、旧山形県庁舎と議事堂です。10年もの歳月をかけ、当時の工法をもとに忠実に復元された建物は、外観も内装も見事の一言。まるで映画の世界に入り込んだような雰囲気、実際に映画のロケ地としても使われているそうです。内部の装飾や調度品の細部にまで心配りが感じられ、見応えたっぷりでした。



③『シェルターインクルーシブプレイス コパル』（令和時代）

現代の建築として訪れたのがこちら。天候に関係なく、すべての子どもたちが共に遊べるインクルーシブな施設で、多くの子どもたちが笑顔でのびのびと遊んでいる様子が印象的でした。建物自体も洗練されていて、まさに“令和”の空気を感じる場所でした。



今回の山形大会では、美味しい山形の食事をたっぷりいただき、希望していた建物見学も実現し、他県の会員の方との交流と心に残るひとときとなりました。